

学校教育目標	自分の考えを表現する子を育てます。(知) 思いやりの心をもった子を育てます。(徳) 心身ともにたくましい子を育てます。(体) 様々な人や地域との関わりを大切にできる子を育てます。(公) 社会の変化に柔軟に対応できる子を育てます。(開) ～元気いっぱい やさしいいっぱい 笑顔いっぱい 心かがやく 笹小キッズ～						
	学校概要	創立 49 周年	学校長 飯田 雅人	副校長 山中 卓	2 学期制	一般学級: 18	個別支援学級: 2
		児童生徒数: 588 人 主な関係校: 希望ヶ丘中学校 東希望が丘小学校 中尾小学校					

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<言語能力> <情報活用能力> <問題発見・解決能力> <自分づくりに関する力>	希望ヶ丘中学校 東希望が丘小学校 中尾小学校 笹野台小学校	課題に柔軟に向き合い、主体的に学び続ける子ども 互いを認め合い、社会とのかかわりを大切にできる子ども 目標に向かってチャレンジし、自信をもって行動できる子ども ・横浜市学力学習状況調査の結果を分析することにより、中学校区の子どもの特性を理解する。 ・児童生徒指導や特別活動、特別支援教育の情報交換を行う。 ・小学校と中学校の授業を相互に見学することにより、子ども像を共有する。

中期取組目標	○子ども一人ひとりを大切にしながら、地域・社会とともに歩む学校づくりをめざします。 ・楽しく分かる授業を通して、学習する喜びを味わえるようにし、子どもの表現を大切にしながら学力向上に努めていきます。 ・一人ひとりが自己有用感をもち、相手を思いやる気持ちを育み、楽しく学校生活を送ることができるようになります。 ・健康や安全の大切さを学習や生活の中で体験的にとらえさせることで、健康な生活習慣が形成できるようになります。 ・地域行事への参加や地域の教育力を活用していくことで、地域を愛する心を育てます。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①子どもたちが主体となり自ら課題を発見し解決できるような学習展開を進める。②めあてと学習方法を明確にし、振り返りの時間を確保し、1時間の学びと成長を実感できるようにしていく。③学力・学習状況調査から課題を発見し、解決していく授業を増やしていく。
担当 総務部	
豊かな心	①本校の合言葉を常に意識して、全教育活動において「豊かな心」の育成をしていく。②特別活動では「あいさつ運動」、総合ではペア学年活動、音楽的行事の「スクールコンサート」などを通して自他を尊重することの大切さを養う。
担当 指導部	
健やかな体	①体育の授業では、体力テストで見い出された課題を克服するために、運動の楽しさを味わえるように学習形態や学習用具等の工夫をする。②年間を通していろいろな運動に親しむ機会をふやすために、ロング昼休みを実施する。③全校で長縄集会を計画し、長縄に挑戦する機会を作る。
担当 研究研修部	
児童・生徒指導	①学校スタンダードを効果的に活用して、児童指導の充実を図る。②全職員での児童理解の時間を設け徹底を図る。③持ち物や体育のスタンダードを作成して、児童が安全に落ち着いて学習できるようにする。④保護者や地域、関連機関との連携を強め、まち全体で子どもたちを育てるような働きかけをする。
担当 児童指導部	
特別支援教育	①特別支援コーディネーターを中心に支援が必要な児童に対して、取り出しを行い、学習や生活上の課題を克服できるようにする。②全職員で対象児童の共通理解を図ったり研修をしたりする。③特別支援に対する教職員の知識を深める研修を進め、特別のニーズに対応する指導や支援を行う。
担当 特別支援委員会	
人権教育	①朝会や集会、学級活動など年間を通して人権意識を高める取り組みを充実させていく。②職員研修を行う。③人権月間などでは、「Y-Pアセスメント」の結果を踏まえ、横浜プログラムを活用した活動を学年ごとに取り組み、児童の感想等を紹介する。
担当 人権委員会	
幼保小中交流	①幼稚園や保育園、中学校の教職員との合同研修や参観、共同指導を行っていくことで、教育観を共有し教育技術を高めていく。②幼児・児童が、小学校や中学校の生活や学習を体験することで、不安や戸惑いをなくし、安心して自己実現できるような体制づくりをする。③他校の実践などから、より良い実践を学び、積極的に取り入れていく。
担当 小中連携地域部会	
いじめへの対応	①児童生徒の心の動きをとらえるため、カウンセリングスキルに関する研修を行う。②「特別の教科道徳」において、児童に自己を見つめ、より多角的・多面的にとらえ、自らの考えを深める力をはぐむ学習を用意する。
担当 いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方改革)	①管理職・主幹教諭・学年主任のリーダーシップの下、今日的課題に関する対応力やチーム力を高め、教職員同士がお互いに指導助言をくり返ししながら教師力を高めていく。②教科・領域の指導方法の研修だけでなく安全や生活指導等、幅広い研修を行う。③計画的に校内重点研究・研修を実施し、外部講師を招聘して、授業力向上を図っていく。
担当 校内研修部	